

令和7年5月12日

考古遺跡から世界遺産を学んでみませんか？ ～中央大学学術講演会を開催します～

「考古遺跡にみる世界遺産」をテーマに、世界遺産に登録された日本の考古遺跡の解説と、世界遺産への道筋を検討します。ぜひご参加ください。

この講演会は、中央大学と各自治体が継続的なネットワーク作りと情報交換を行うことを目的に開催しているものです。

記

- 1 日 時 令和7年5月17日（土）午後1時30分～3時 ※開場：午後1時
- 2 場 所 キョウワグループ・テルサホール
大会議室 あぶくま（上町4番25号）
- 3 講 師 小林 謙一 氏（中央大学文学部教授）
- 4 テ ー マ 「考古遺跡にみる世界遺産」
- 5 定 員 100人（当日先着順、事前申し込み不要）
- 6 参 加 費 無料
- 7 主 催 中央大学、福島市

担当： 文化振興課 文化財保護活用係
課長 今野、係長 新井
電話 024-525-3785（直通）

令和7年度 中央大学学術講演会

参加費
無料

考古遺跡にみる世界遺産

と き

令和7年 **5**月**17**日(土)

13:30~15:00

開場 13:00



ところ

キョウワグループ・テルサホール

大会議室 あぶくま(福島市上町4番25号)

※テルサ駐車場台数には限りがございます。

パークアンドライドをはじめとする

公共交通機関のご利用にご協力ください。

テルサ
駐車場案内



パークアンド
ライド



定 員

100名

事前申込不要・当日先着順



講 師

小林 謙一

(中央大学文学部教授)

【講演概要】

2021年、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されました。日本には他にも古市古墳群(大阪府)をはじめとする多くの考古遺跡があり、世界遺産に登録されています。それらの内容を解説し、世界遺産のメリット・デメリットや世界遺産への道筋などについてお話しします。



大型板状土偶 (写真提供/三内丸山遺跡センター)

主催:中央大学・福島市 問合せ:福島市文化振興課(TEL:024-525-3785)

この「縄文文様デザイン」は宮城遺跡の縄文土器の文様(雲形文)を基に、縄文の「まつり」を象徴する「炎」のイメージを加えて作成したものです